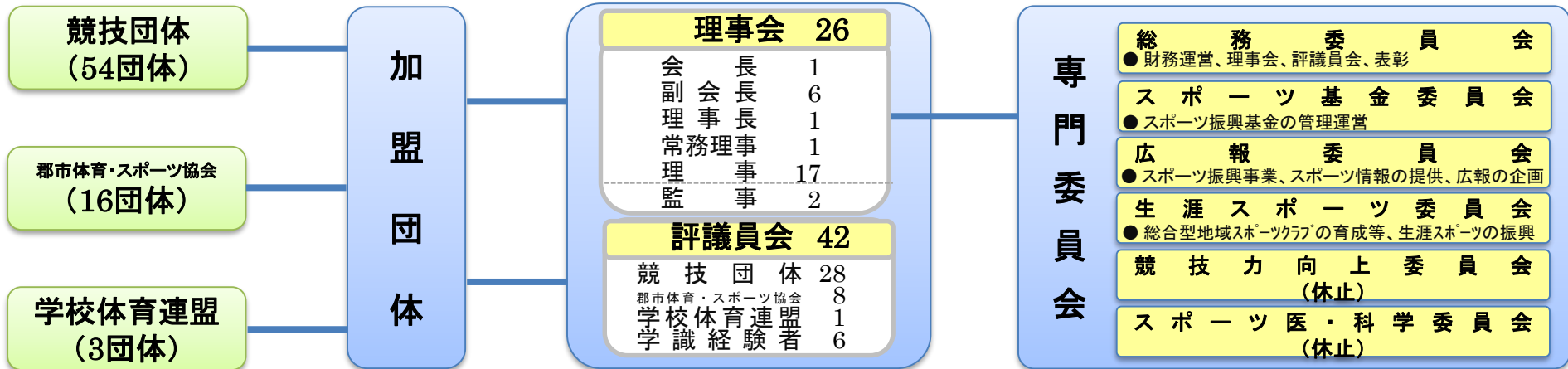


公益財団法人滋賀県スポーツ協会組織図

(※ 平成30年度当初の状況)



54競技団体

陸上競技協会、水泳連盟、サッカー協会、スキー連盟、テニス協会、ボート協会、ホッケー協会、アマチュアボクシング連盟、バレーボール協会、体操協会、バスケットボール協会、スケート連盟、レスリング協会、セーリング連盟、ウエトリフティング協会、ハンドボール協会、自転車競技連盟、ソフトテニス連盟、卓球協会、軟式野球連盟、相撲連盟、乗馬連盟、柔道連盟、ソフトボール協会、フェンシング協会、パドミントン協会、弓道連盟、ライフル射撃協会、剣道連盟、山岳連盟、ラグビーフットボール協会、カヌー協会、アーチェリー協会、空手道連盟、銃剣道連盟、クレー射撃協会、なぎなた連盟、ボウリング連盟、アメリカンフットボール連盟、高等学校野球連盟、少林寺拳法連盟、ゲートボール連盟、アイスホッケー連盟、ゴルフ連盟、グラウンド・ゴルフ協会、武術太極拳連盟、トライアスロン協会、ダンススポーツ連盟、スポーツ拳法連盟、ビーチボール協会、スポーツチャンバラ協会、ドラゴンボート協会、エアロビク連盟、バウンドテニス協会

16郡市体育・スポーツ協会

大津市体育協会、彦根市スポーツ協会、長浜市スポーツ協会、近江八幡市スポーツ協会、草津市スポーツ協会、守山市体育協会、栗東市体育協会、甲賀市スポーツ協会、野洲市体育協会、湖南市体育協会、高島市体育協会、東近江市体育協会、米原市体育協会、蒲生郡体育協会、愛知郡体育協会、犬上郡体育協会

3体育連盟

高等学校体育連盟、中学校体育連盟、小学校体育連盟

事務局

事務局本部

総務・財務担当

法人運営
財務・経理・庶務
指定管理施設

- 理事会、評議員会、加盟団体理事長・事務局長会議の開催等
- 中期経営計画の進行管理
- スポーツ安全協会滋賀県支部

生涯スポーツ担当

地域スポーツ
大会・イベント
スポーツ少年団

- 県民総スポーツの祭典(6部門で開催)
- 県民体育大会
- スポーツ・レクリエーション大会
- レクリエーション大会
- 総合型地域スポーツクラブ交流大会
- びわ湖男女駅伝フェスティバル
- 滋賀県障害者スポーツ大会
- びわ湖レイクサイドマラソン
- 2024年滋賀国体記念講演
- 地域スポーツの振興
- スポーツ少年団
- 総合型地域スポーツクラブ

競技力向上担当

国体派遣
競技力の向上

- 国体派遣事業
- 国体総合成績
天皇杯順位20位台維持
- 県との連携による競技力向上対策事業
- 選手の育成・強化
- 指導体制の充実
- 拠点の構築・環境の整備
- 滋賀県企業スポーツ振興協議会
- 2024年国体に向けた支援活動

事業所 (指定管理施設)

| 施設名 | 開設年 | 利用人数(人) H28～H30 目標合計 |
|--|-------|----------------------------|
| スポーツ会館 | 昭和59年 | 234,600 |
| 彦根総合運動場 | 昭和14年 | 374,500 |
| 長浜バイオ大学ドーム | 平成4年 | 647,400 |
| ウカルちゃんアリーナ(体育館) | 昭和45年 | 337,500 |
| 武道館 | 平成5年 | 301,500 |
| 琵琶湖漕艇場 | 昭和46年 | 101,100 |
| 栗東体育館 | 平成6年 | 147,600 |
| 柳が崎ヨットハーバー | 平成8年 | 43,400 |
| アイスアリーナ | 平成12年 | 320,900 |
| 合計 | | 2,508,500 |
| 各施設の特性を活かし、ジュニア世代の育成や女性の参加に重点をおいた教室等、各種スポーツ振興事業を実施 (H29 9施設 88事業) | | |